

# 感謝

平成二十三年十月二十二日

平成二十三年十一月二十一日

## 愛寿会・仁生園・第二仁生園への

### ご協力ありがとうございました。

いつも愛寿会・仁生園・第二仁生園のためにご協力をいただき心から感謝申し上げます。今後とも利用者の皆様によりご満足いただける施設運営を目指し役職員一体となって誠心誠意努めて参ります。何卒、これからもご支援のほどを、また、ご叱正を賜りますようお願い申し上げます。

### 金員・物品のご寄附

・北杜市長坂町	坂本君仁様
・甲府市善光寺	深澤敬寛様
・北杜市長坂町	小林稔様
・北杜市小淵沢町	中山賢一様
・北杜市小淵沢町	星野リゾート リゾナーレ様

### ボランティア活動

・北杜市高根町	保坂多枝子様
---------	--------

### 愛寿会後援会へのご協力

・北杜市大泉町	齊藤富貴子様
・長野市栗田	日清医療食品(株)様
・北杜市小淵沢町	宮沢謙市様

愛寿会のサービスに何かご意見・ご要望がございましたら、また、施設見学等のご希望がございましたら左記までご連絡ください。

仁生園	電話	0551(32)	3340
第二仁生園	電話	0551(32)	8270

## 給食業務評価委員会のその後の動き

愛寿会だより十一月号でお知らせしましたように、平成二十四年度の仁生園の給食業務の委託先は、県内外の受託専門業者に広く呼び掛け「我が社ならこうする」と言った申込書（プロポーザル表）を提出していただき、これを給食業務評価委員会が審査のうえ最適と認められる業者について、十二月十九日（月）開催の理事会・評議員会に議案として提出、ご審議をお願いすることになっております。



第二仁生園分については、右により決定した業者と仁生園の例にならない契約することになっております。

このことに関するその後の動きについてあらましを以下に記します。

### ①受託会社への呼び掛け

平成二十二年度に北杜市が実施した例を参考に社に対し会社概要及び受託実績の提出を求めました。うち、八社から回答がありました。

### ②給食業務評価委員会の設置

十月十一日（火）に設置しました。両園の副園長以上の六名、前年度からの給食事業検討委員会の主幹事、管理栄養士の八名で構成することになりました。小尾章臣仁生園園長が委員長の任に当たることになりました。

同日第一回目の会議を開き、①に対し回答のあった八社それぞれに適確性があるものと認め十一月九日（水）までにプロポーザル表の提出を求めることになりました。

その前の十月二十五日（火）に全社一堂に会して質疑応答を行うことになりました。

### ③質疑応答

八社全部が出席、あらかじめ提出していただいていた質問書を中心に活発に質疑応答をしました。

### ④プロポーザル表の提出

七社から提出がありました。

### ⑤十一月十六日（水）第二回評価委員会

プロポーザル表を整理した資料が各委員に配付され、次回評価委員会までに、  
ア 給食業務に従事する職員の配置についての考え方  
イ 職員に対する年間の研修計画  
ウ 業務を受託する前提としての管理費の内容

などに重点を置いて検討することが確認されました。

### ⑥十一月二十二日（火）第三回評価委員会

各委員による採点集計上の疑問点について論議しました。

### ⑦十一月二十四日（木）第四回評価委員会

前回に続き、疑問点その他について論議を重ね、各評価委員による評価表の提出がされました。

十一月中に順位を決め、一位となった会社の来園を求め詳しい内容について最終確認のうえ、十二月十九日（月）の理事会・評議員会に議案を提出することが決まりました。

# 愛寿会 たより

12月号  
第150号  
平成23年  
12月1日発行



小泉小学校は仁生園の南方二キロメートルのところにある地元の小学校です。毎年この時期に仁生園を慰問して下さいます。別に、春から夏にかけては福祉の勉強のために何学年かが訪ねて下さいます。今回(十月十二日)は三年生と五年生合わせて十八名が訪問して下さいました。同校名物の「ロックソーラン」などを披露して下さいました。利用者の皆様は「ひまご」のような子どもたちの歌や踊りにご満悦で、一緒に唄ったり、手振りや調子を合わせたりして下さいました。先生と児童代表二名の方にひとこと感想を寄せていただきました。小泉小の先生、児童の皆さまありがとうございました。

教諭 矢ヶ崎 公彦

小泉小学校は、富士山や八ヶ岳などが見渡せる豊かな自然環境の中にあります。仁生園からは二キロメートルほどの距離にある全校児童六十六名の小さな学校で、毎年、子どもたちは仁生園のお年寄りの皆さんと交流をしています。

今年も十月十二日に、三年生と五年生が仁生園を訪問し、ふれあいの中で貴重な体験とともに楽しいひと時を過ごさせていただきました。子どもたちは、お年寄りのみなさんに喜んでからおうと、みんなで発表や接し方を一生懸命に考えました。学校では、交流を通して相手を思いやる心について考え実践する大切な機会と考えています。

当日は、仁生園の方々に温かい拍手をいただいたり、楽しく会話したりと児童にとって素晴らしい経験となりました。このような機会が持てることを心より感謝しています。

三年 千野 久瑠美

十月十二日、仁生園に行きました。五年生が組み立てをして、わががきまると、かならずはく手をしてくれました。三年生がロックソーランをおどっている時にも、はく手をしたり、いっしょにおどってくれたりもしました。やさしいおばあさんおじいさんだなぁと思いました。

ふれあいタイムにはあく手をしたり、お話をしたりしました。なかには、目になみだをためている人もいました。また、耳が聞こえない人もいました。けれど、いっぱいお話ができてよかったです。

お別れの時、かべにかざられた、綿や切った木を使った大きな絵を見せてもらいました。とても上手でした。

最後に「ありがとうございます。」と言って帰りました。とっても楽しい仁生園訪問でした。

五年 白倉 みらい

今日は、仁生園訪問でした。私がビックリしたことはとてもきれいで広かったことです。私は仁生園に行く前、「八十歳から九十歳だから車いすに乗っている人がほとんどだろう」と思っていました。しかし、それとは全く逆で、歩いている人が多く、よかったと思いました。

五年生の組立てはとっても緊張しましたが、練習の時とは違って少し戸惑いましたが、成功してよかったです。たくさん拍手をもらえてよかったです。三年生の『ロックソーラン』を見ていて私は、すごく迫力があつたので、みんなに元気をくれる踊りだと感じました。『上を向いて歩こう』の鉄琴の演奏や『校歌』の伴奏は、初め全然音も出なかったもので、「できるのかな？」と焦りました。でも、自分のできることを頑張ろう、仁生園の方に喜んでもらえるように頑張ろうと思ひ、中休みや放課後、友達と練習をして、楽譜を見ないで演奏することができるようになりました。その成果を見てもらった、聞いてもらったり、また、大きな拍手と励ましの声援をもらったので、演奏し終わった時に思わず笑顔になっていました。

仁生園の方とのふれあいタイムでは、「上手だったよ。ありがとう。」とか「また来てね。待ってるよ。」と言ってくれました。とても嬉しかったです。

仁生園を訪問して、とても喜んでもらえたし、自分自身も楽しめたので交流が深まってよかったです。



## 山梨県立北杜高校福祉系列 二年生生徒による訪問介護員実習

北杜高校福祉系列、二年生の生徒さん四名による訪問介護員実習が十一月十四日(月)にデイサービスセンターで実施されました。



実習にあたり生徒の皆さんは事前に目標を設定し、主に利用者の方々のコミュニケーションを図るということを実践して頂きました。

**S君** (将来の希望 スポーツトレーナー)  
実習の目標 お年寄りに良かったと思って頂けるような態度で接する。

**K君** (将来の希望 福祉系の職種)  
実習の目標 元気に明るく接し充実した日にする。

**Nさん** (将来の希望 医療系の職種)  
実習の目標 高齢者と仲良くなって楽しみながら技術を学ぶ。

**Nさん** (将来の希望 医療系の職種)  
実習の目標 利用者さんと積極的にコミュニケーションを取り、できることを探して実習で介護について学ぶ。

生徒の皆さんそれぞれが、しっかりとした目標と高い目的意識を持ち、実習に取り組んでおられました。明るく活発な生徒さんとの交流に、利用者の皆さまも顔がほころんでいました。

## キャリア形成訪問指導研修が開催されました

施設が抱える課題として、常にあがるものに「接遇」があります。利用者皆さんの尊厳を守る大切さを理解しているつもりでもつい…そこで今年度は、介護施設職員のキャリアアップを目指した「キャリア形成訪問指導」として県立大学の中島朱美准教授に利用者支援の基本と介護者のポジショニングの研修をお願いしました。

短時間でしたが、その人の生き様を守ることが尊厳を守ると、指示は自己決定権を奪うこと、関わり方の基本姿勢、態度等改めて気づかされることが多く、今後援助の過程で深く心に留めておきたい内容でした。



## デイサービスセンター「千し柿づくり」

十一月月上旬、数日にわたって冬の風物詩ともいえる「つるしんぼ(千し柿)」を作りました。甲州百奴、



甲州丸の二種類の渋柿を用意し、利用者皆さんと職員一緒に皮をむいてひもで結び、外に干しました。食べごろはいつになるでしょうか。会話も弾みながらの作業となり、また、晩秋を感じさせるひと時となりました。早く味わえることを楽しみにしています。

## 指定居宅介護支援事業所利用自動車更新

仁生園では居宅で介護を必要としている高齢者を訪問し、いろいろな相談に対応する事業を行っています。その専用車が老朽化しましたので、このほど写真のように更新しました。



## 仁生園・第二仁生園 利用料納入のお願い

仁生園・第二仁生園の利用料は、入所時のお約束に基づき、毎月二十五日(その日が休日のときにはその翌日)に利用者名義の山梨中央銀行口座から引き落とさせていただきます。

ところが、ホンの二、三例ですが、毎月のように口座から引き落とせない方がいます。口座に振り込むのを失念されたのではないかと考え失礼がないように丁寧にお願いしています。しかし、何れに致しましてもこうしたことでも再々やりとりをするのはお互いに本意ではありません。

最初に申し上げましたように、口座からの引き落としは毎月二十五日(その日が休日のときにはその翌日)と決まっています。

ぜひその前に口座の残高をお確かめ下さるなど必要な措置を講じて下さいますようお願い申し上げます。



## 師走を迎えた 第二仁生園

被災地、福島から第二仁生園へ：

第二仁生園・生活支援員 矢吹淳

平成二十三年三月十一日の東日本大震災の被害を受けて、福島県いわき市から山梨へ移住して九ヶ月が経ちました。

被災した当日、私は自宅から一〇〇キロ離れた福島市で職場の同僚と研修会に参加している最中でした。五分間ほど強い揺れが続き、生きた心地がしませんでした。自宅はメチャメチャになっていて、災害のすさまじさを目の当たりにしました。

幸いにも家族は全員無事でしたが、たくさんのお親戚や友人が災害の犠牲者となりました。三月十五日原発事故のため、福島からの避難を余儀なくされました。同月十九日に山梨県に入り須



玉町下津金の古民家に妹の家族とともに十一人でお世話になりました。話になりました。福島で老人福祉施設に七年間勤めていた経験を生かし、

どうしてもその仕事をしたいと思っていました。

放射能汚染の中、福島へ何回か往復しながら四月に入り、縁あって五月十六日、愛寿会第二仁生園に採用されました。福島のことも気掛かりになることもありますが、今は二人の子どもと四人家族で楽しく暮らしています。生来、明るく元気な性格が取り柄です。仕事にも慣れて頼りになるスタッフになれるように、今後も頑張っていきます。

理学療法士の和田先生が訪問：

今年五月より、都留市からボランティアの理学療法士の先生が第二仁生園を訪問してくださっています。先生の訪問を待ちわびていた入所者六人が先生の指導を受けました。この秋にも和田先生のリハビリ訓練がありました。二十九歳の若い先生は、利用者さんの人気者です。

入所のみなさんからリハビリ方法についての希望を聞きながら、実践とそのポイントを適切にアドバイスをしてくださいました。

リハビリはとて大切です。今後とも和田先生、生活支援員、看護師、そのほか全職員力を合わせ、その充実に向けて参ります。



陶芸教室でクリスマス飾りを制作しました

十一月十五日は、陶芸家の佐藤英道さんほか二人のボランティアさんを迎え、待ちに待った陶芸教室の日です。クリスマスを手控え、みんながチャレンジしたのは、クリスマスツリーの星や、飾り皿でした。

粘土を捏(こ)ねて、成形をしてからうわぐすりで、色を付けます。紫色や青色で上手に絵が描けました。佐藤先生の窯かままでじっくり火を入れて仕上げは、十二月です。きつと、素晴らしい陶芸作品が出来上がってくるでしょう。

乞うご期待です…



ご面会の皆さま

手指の消毒などに協力をお願いします！

仁生園・第二仁生園 共通

お手数をおかけしますが、施設利用者の健康を守るために左記の七項目をお守りくださいますようお願いいたします。

- 一、ご面会は、なるべく午前九時から午後五時の間をお願いいたします。
- 二、出入口は、正面玄関からのみとしてくださるようお願いいたします。
- 三、ご面会の際には、必ずマスクを持参してください。
- 四、玄関に入りますと正面に消毒液が設置されておりますので、手指を丁寧に消毒してください。
- 五、ご面会に訪れたことを事務室にお話しください。その際、体調の悪い方にはご遠慮いただくことがあります。
- 六、それからワーカー室に向い、来意をお伝えください。
- 七、ご面会の際には、マスクの着用を基本にお願いいたします。

